

**令和4年度  
全国学力・学習状況調査  
学校の調査結果**



**令和4年12月  
海老名市立大谷小学校**

令和4年度

# 全国学力・学習状況調査について

## 調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

## 調査内容

- (1)教科に関する調査(国語, 算数・数学及び理科)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 調査実施日

令和4年4月19日(火)

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で、端末を活用したオンラインによる回答方式で実施



# 小学校 国語

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し言葉と書き言葉との違いを理解することができるかどうかをみる。
- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることができるかどうかをみる。
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容の中心を捉えることができるかどうかをみる。
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像することができるかどうかをみる。
- ・表現の効果を考えることができるかどうかをみる。
- ・文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができるかどうかをみる。
- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるかどうかをみる。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。
- ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えることができている。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができている。

### ◆課題のある点

- 一定量の文章を決められた時間内に読み切ることに課題がある。
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題がある。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 一定量の文章を決められた時間内に読み取ることができるようにするために、朝読書等を活用して、文章を読む活動をより多く取り入れる。
- 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるようにするために、授業中に目的をもって話し合う時間を意図的に設定する。

# 小学校 算数

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できるかどうかをみる。
- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみる。
- ・百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができるかどうかをみる。
- ・示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる。
- ・二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができるかどうかをみる。
- ・分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できるかどうかをみる。
- ・目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。
- ・加法と乗法の混合した数の求め方を解釈し、他の場合の求め方と答えを記述できるかどうかをみる。
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できるかどうかをみる。
- ・長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解しているかどうかをみる。
- ・作図手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できるかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述することができている。
- 百分率で表された割合を分数で表し、基準量から、比較量を求めることができている。

### ◆課題のある点

- 二つの数量が比例関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述することに課題がある。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- 基礎的・基本的な学習事項については、繰り返し授業で取り上げ、復習できるようにする。
- 比例の学習では、表や数直線を提示し視覚的に理解ができるようにする。また、教師が教えるだけでなく子ども同士で伝え合い、学び合うことで理解を深めていく。

# 小学校 理科

## 出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・昆虫の体のつくりを理解しているかどうかをみる。
- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けているかどうかをみる。
- ・問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・日光は直進することを理解しているかどうかをみる。
- ・実験の過程や得られた結果を適切に記録しているかどうかをみる。
- ・実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できるかどうかをみる。
- ・結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができるかどうかをみる。
- ・水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる。

## 本校の調査結果

### ◆比較的できている点

- 提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができている。
- 他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができている。
- メスシリンダーという器具を理解し、正しい扱い方を身に付けている。

### ◆課題のある点

- 他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。
- 実験や観察で得た結果を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述することに課題がある。

## 今後の具体的な指導改善のポイント

- どんなことを明らかにするために実験や観察を行うのかを明確にして、実験や観察によって得られた結果からどのようなことが分かったのかを詳しく記述させるようにする。

# 児童質問紙

## 学習について

### ◆本校のよかったところ

- 「自分の考えが伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した」と回答している児童が全国平均よりも多い。
- 国語、算数、理科の問題で「解答時間が足りなかった」と答えている児童の割合に比べ、「すべての問題で最後まで解答を書こうと努力した」児童の割合が非常に多い。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「国語の学習は大切だ」と回答している児童に比べ、「よくわかる」「将来役に立つ」と回答した児童の割合が低い。
- ICT機器を使って自分の考えをまとめたり、友達と意見を交換したりすることが少ない傾向にある。

## 生活について

### ◆本校のよかったところ

- 「朝食を食べる」「毎日同じくらいの時刻に寝る・起きる」など生活習慣が整っている児童が多い。
- ほとんどの児童が「人の役に立つ人間になりたい」と回答している。
- 「将来の夢や目標を持っている」と回答した児童が全国平均よりも多い。

### ◆本校の課題と思われるところ

- 「自分にはよいところがあると思う」と回答している児童が、全国平均と比べ低い。
- 「やると決めたことはやり遂げようとする」と回答した児童が全国平均と比べると低い。
- 「地域の行事に参加している」児童が、全国平均と比べ低い。

## 今後の具体的な取組について

- 学習や生活において、多くの望ましい態度や行動が見られることは本校児童の大きな特長です。各ご家庭の養育が、大きく影響しているものと考えられます。学校においても「人の役に立つ人間になりたい」と願う児童の気持ちに寄り添いながら、よりよい体験を積み上げていきます。
- ICT教育をより推進するとともに、よりわかる授業に努めていきます。
- 様々な場面で友達と意見を交換したり、互いのよさ認め合ったりしながら、自己肯定感を高めていけるように努めます。
- 地域と学校の関わりについては、総合的な学習の時間や生活科等で、多くの方々のご支援をいただきながら学習を進めています。地域の方々に支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちを持てる児童を育成していきます。



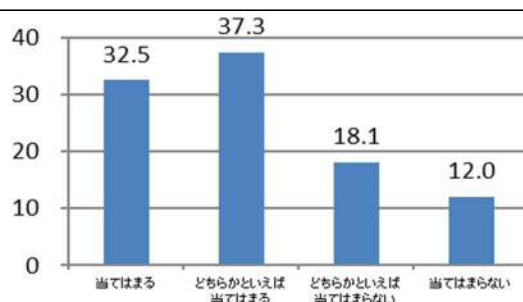
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

## 1 ほめることを大切にしましょう

お子さんのよいところや頑張ったところを積極的に認め、ほめることが、子どもたちの自己肯定感を高めることにつながります。

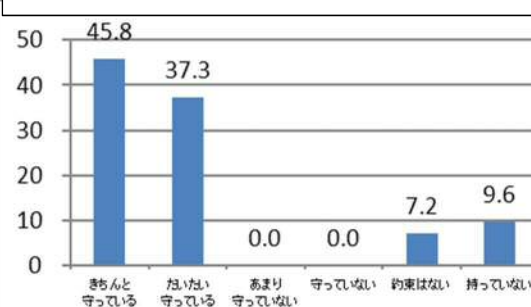
自分にはよいところがあると思いますか



## 2 携帯電話スマートフォン等の使い方について話し合って決めましょう。

今回の結果からはスマートフォン等について家の人との約束が守れているという回答が比較的多かったようですが、中学生に向けて再度ご家庭で話し合いの上約束を決めていってください。

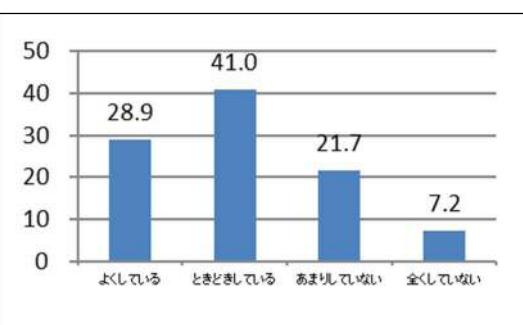
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



## 3 自分で計画を立てて、学習に取り組みましょう

「10分×学年」の時間をめやすに、計画を立て、見通しをもって家庭学習に取り組むことが、進んで学ぶ姿勢を身につけることにつながります。

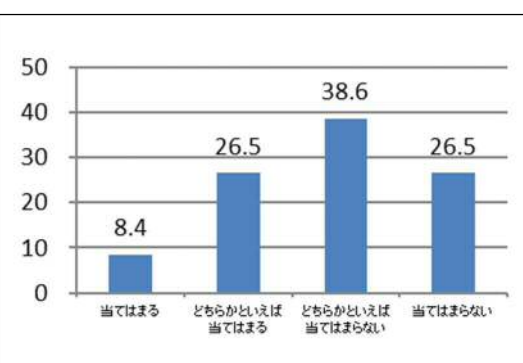
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



## 4 地域の行事に積極的に参加しましょう

コロナ禍で地域の行事が少なくなっていますが、行われるようになったら積極的に参加し、地域の方との交流の輪を広げましょう。

今住んでいる地域の行事に参加していますか



## 結果の公表にあたって

- 公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善に生かすために公表するものです。
- 公表することによって、保護者や市民の皆様にも市や学校の子どもの状況を理解していただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- 「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力

検索



【市の結果についての問い合わせ先】

電話 046-235-4919

海老名市教育委員会教育支援課 指導係